

「吹き抜けて家全体がつながる感じが好き」とSさん夫妻。天井まで伸びる1尺2寸の大黒柱が特に印象的だが、樹齢数百年の台湾檜の最良部位を使ったという差し鴨居もかなりの値打ちもの



購入した土地はすぐ裏に田園が広がる。その景色を生かして南東にリビングを配置し、吹き抜けを紹介してロフトを含む3層がつながるプランにした。目を引くのが当初想定を上回る1尺2寸角の大黒柱だ。檜材を自然乾燥している大喜工務店の倉庫で夫がひと目惚れ。極太の丸太梁と組み合わされ、存続や材の構造を思わせる。重厚感あふれる構造に納得の夫に対し、「天井が高く開放感がありますね」と居心地を評価する妻。家族の気配が常に感じられる間取りもお気に入りだという。



LIVING



①南東向きにリビングをゆったりと配置。檜の床が温もりを添える ②引き戸を開放すればリビングの延長としても利用できる和室。天井は大喜工務店の倉庫に眠っていた秋田杉を使い、照明器具を埋め込んでフラットに仕上げた



リビングは3層の吹き抜け。見上げると極太の大黒柱や丸太梁などの構造が美しい。コミュニケーションが取りやすいよう2階の子ども室に室内窓を設けた



1尺2寸の大黒柱が貫く骨太な3層吹き抜け

滋賀・守山市 Sさんの家 | 家族構成/夫34歳 妻41歳 長女7歳 次女3歳



KITCHEN

造作のキッチンカウンターは、妻の亡き祖父が木工時代に蓄えていたケヤキ材を活用。奥の壁にあしらったモザイクタイルの施工時には夫も手伝ったという



家づくりを真剣に考えていくうち構造や自然素材への興味が深まり、頑丈で心地よい「無垢の木の家が建てたい」と思い至った夫。「たまたま訪れた工務店で見た8寸角の大黒柱に惹かれました。でもそこは集成材だったんです」求めるものと違うと感じた夫があちこち探し求め、見つけたのが大喜工務店。完成見学会に参加し、ここだと確信した。「家に入った瞬間、豊かな木の香り。見るからに頑丈な構造体で、極太の本物の檜の大黒柱も印象的。帰宅後もいい匂いがするなと思ったら、いただいたパンフレットにまで木の香りが移っていたんです。大喜さんの家を知ってしまったと、もうほかの会社で建てよう

上質な構造材を組み上げ
重厚感と開放感を両立

Find the Good House in the Local Builder



大喜工務店

無添加骨太高断熱住宅で
安心と快適を実現する

上質の檜材を銘木の産地から直接仕入れ、自社倉庫で長期自然乾燥させて大黒柱などに使用。3階建て基準のベタ基礎や2階でもグラウンドピアノが置ける仕様を標準とし、すべての家が基準の1.7倍以上の耐震性能を誇る。さらに柱・梁・床・天井などを無垢材で構成し、壁にオリジナルの珪藻土などを用いた“無添加骨太高断熱住宅”を推進。過剰だと思われるほどのこだわりを貫き、大手建築会社に勤める幹部から家づくりを依頼されるほど信頼は厚い。



「檜材は銘木の産地・東濃地方から直接仕入れ、自社で長期自然乾燥しています」と社長の藤田喜代次さん

DATA

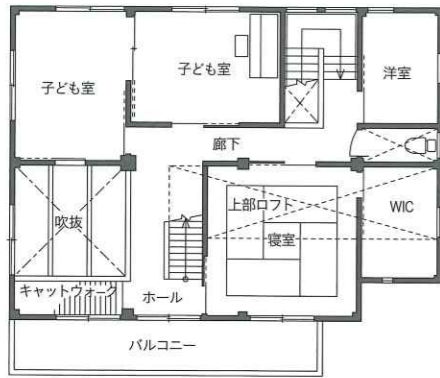
社名/大喜工務店
代表/藤田喜代次
住所/〒527-0087
滋賀県東近江市平田町764
☎0748-22-0028
年間建築棟数/新築30棟
設立/1952年1月
建築エリア/滋賀県

PROFILE



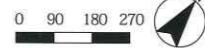
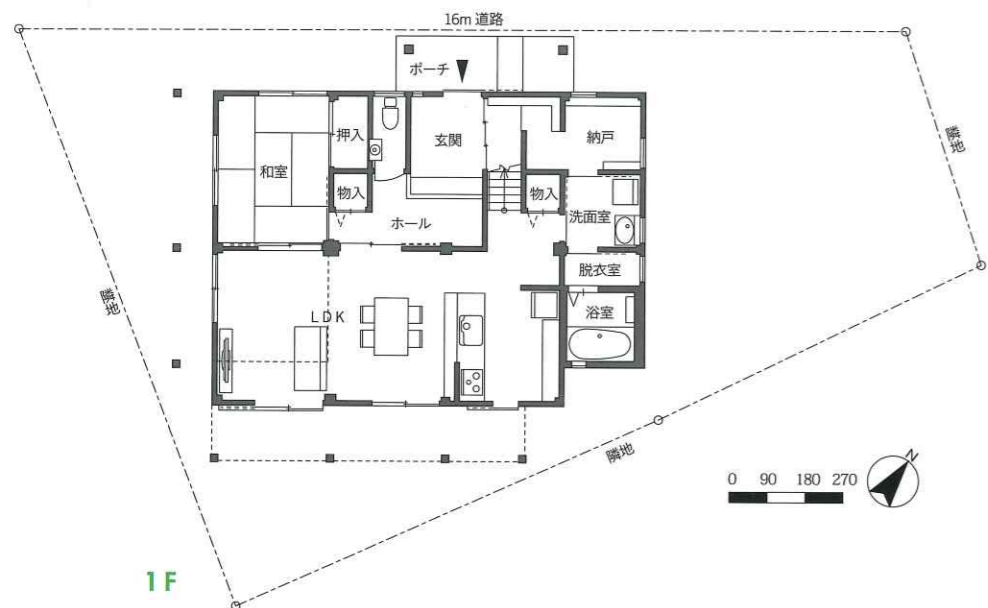
藤田英喜
住宅設計実績100軒以上の一級建築士。見た目のデザインだけでなく、生活スタイルに合わせて幅広い提案を行う。同じく一級建築士の社長とともに家づくりの全工程に携わる

こだわり抜いた
上質な住まいを
提供します!



DATA
 敷地面積 / 199.01㎡ (60.31坪)
 延床面積 / 136.11㎡ (41.25坪)
 1階 / 71.78㎡ (21.75坪)
 2階 / 64.33㎡ (19.49坪)
 用途地域 / 第1種中高層住居専用地域
 建ぺい率 / 60%
 容積率 / 200%
 構造 / 木造軸組工法
 本体工事費 / 3000万円
 竣工 / 2017年2月

INSTRUMENTS
 厨房機器 / タカラスタANDARD
 衛生機器 / トクラス、パナソニック
 窓・サッシ / YKK AP



①・②節なしの檜材の階段。1段目には大喜工務店の倉庫にあった大黒柱の端材を使用。踊り場付近に玄関へ通じるガラスブロック窓を設置

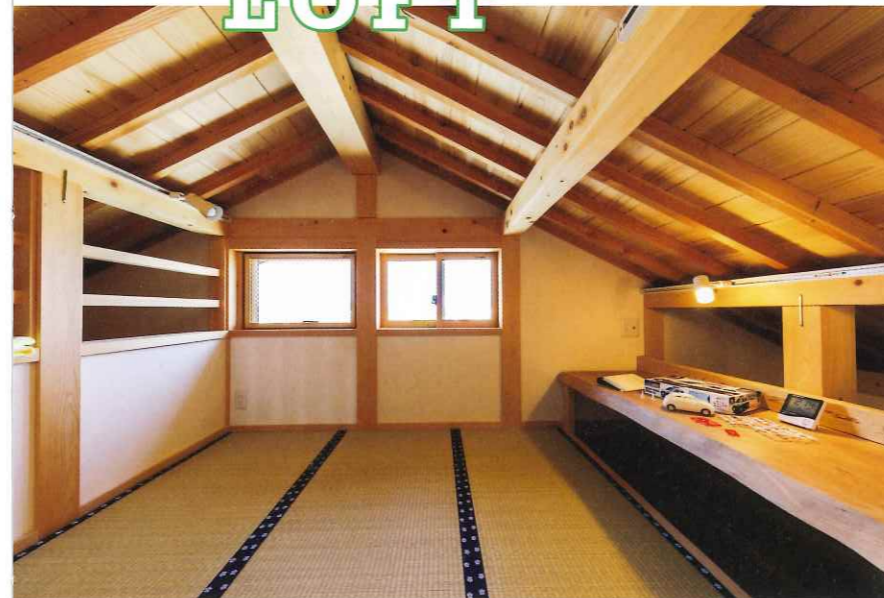


屋根裏の構造で一際目を引く松の丸太梁は太い部分で1尺5寸ほどに及ぶ。亀裂が入っているのは長期自然乾燥させた証しで、強制乾燥の材とは異次元の粘り強さを発揮するという

“極太の大黒柱や丸太梁が安心感を与えます”

こだわりの自然素材がいっぱい!

LOFT



ロフトの一角を夫の隠れ家的な書斎に。掘りごたつ式のカウンターは施工主支給のアサダ材で製作。左右の吹き抜けは寝室や妻の作業部屋とつながる



- CHECK POINT -

強く美しい1尺2寸の大黒柱



1尺2寸角の大黒柱は大喜工務店が東濃産檜を直接仕入れ、長期自然乾燥させたもの。リビングのインテリアとしても映える。「彦根城の檜を見て感動し、そのイメージで極太の丸太梁と組み合わせてもらいました」と夫。8寸角以上の通し柱も10本使用し、建築基準法の2倍以上の耐震強度に。

ENTRANCE HALL



③・④ガラスブロックをアクセントに利かせた天井の高い玄関ホール。洗面室側への裏動線を兼ねて土間収納と納戸を併設している。コテ跡をつけた珪藻土の壁やトチ材の式台はSさん夫妻のこだわり。板張りの壁のサイクルラックは夫のDIY



⑤御影石の立派な門柱が迎えるアプローチ。「大喜さんで家づくりをしていると刺激されて」とフェンスは夫がDIYで仕上げた ⑥黒を基調とした切妻屋根のシンプルな外観。バルコニーの色がアクセント

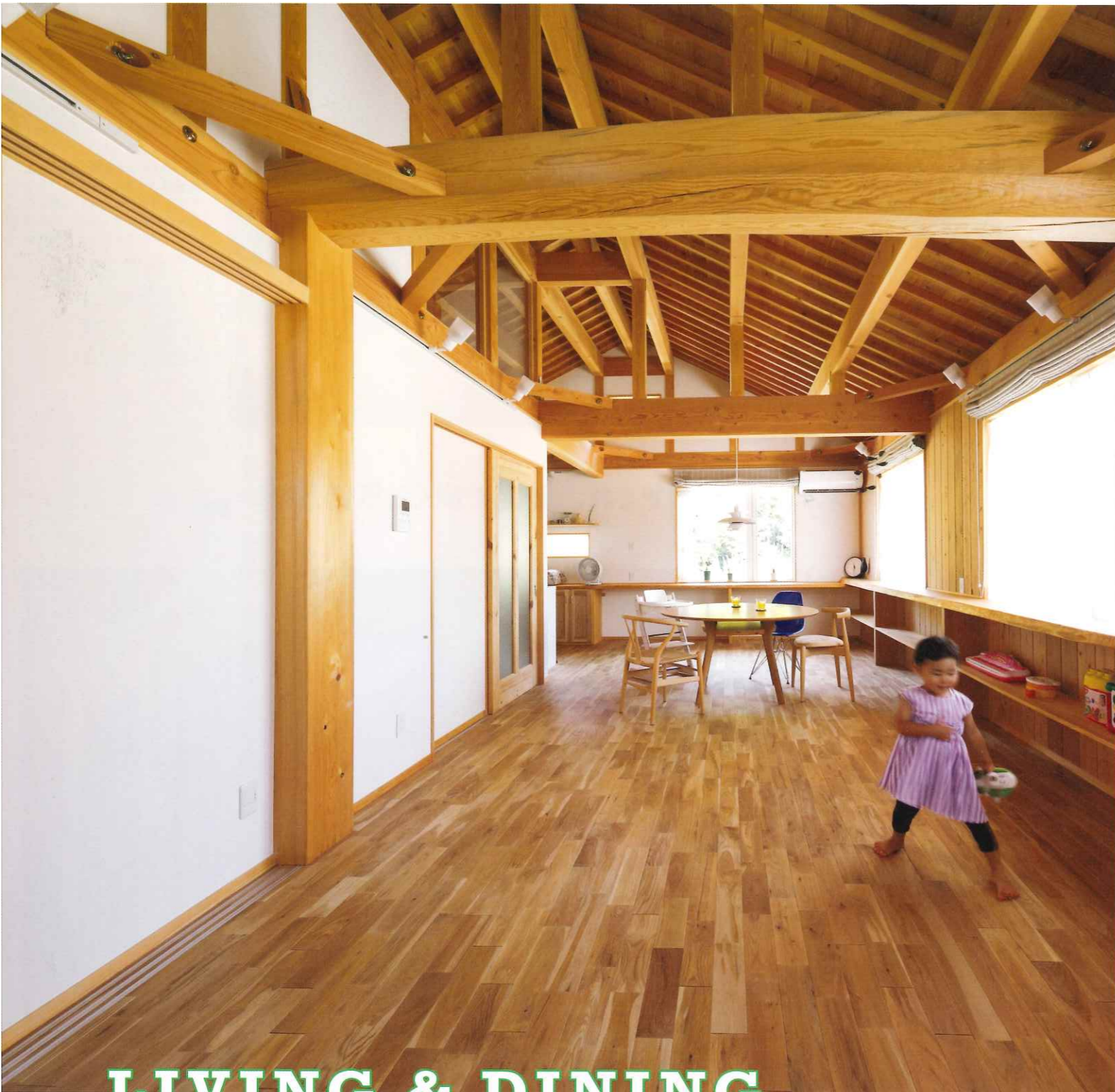
SECOND FLOOR HALL



2階ホールはリビングからロフトへ続く吹き抜けの緩衝エリアで、スノコ状のキャットウォークからも階段へ光を送る。普段は室内干しスペースとして利用



ロフトを見上げる吹き抜けの寝室は階段室側とホール側の2アクセス。家具の設置を想定して畳の周囲に板張りを巡らせた



LIVING & DINING

極太の丸太梁や大黒柱と借景が自慢の2階リビング

愛知・半田市 杉山さんの家 | 家族構成/夫35歳 妻34歳 長女2歳

極太の大黒柱と丸太梁が印象的なリビングダイニング。細かく配した屋根裏の垂木も美しい。窓側の壁に沿って多目的に使えるカウンターを巡らせている

高強度の骨太な構造と開放的な大空間を両立
 新居を構える場所として、自然災害の心配が少ない高台を選んだ杉山さん夫妻。夫は大手建設会社に勤め、妻は設計事務所勤務の一級建築士ということもあり、建物の構造に対する強いこだわりも。大喜工務店へ依頼を決めた経緯について、夫はこう振り返る。
 「魅力はなんといっても骨太な構造と吟味された素材の確かさ。大喜さんに勝る会社はないと思いついて、建築エリア外ですがお願いしてみ

ると、私たちの熱意が伝わって引き受けてくださったんです」
 ロケーションを考慮して導き出したプランは、角地の開放感と東側に開けた森の借景を生かせる2階リビングの家。個室とサニタリーを1階にまとめることで、2階に大空間を実現した。
 「食事をしながら新緑や紅葉などの景色が楽しめます。屋根裏を見せた高い天井も気持ちいい」
 妻がそう語るリビング内で、一目を引くのが、9寸角の檜の大黒柱と、地松を使った極太の丸太梁。ナラ材の床や杉板の壁などとも調和して、心地よい木の温もりと香りを漂わせる。

多くの窓に囲まれた空間でありながら、優れた断熱性で冬も暖か。夏の日差しは遮る一方、冬の日差しは奥まで入る軒の長さに設計するなど、1年を通して快適に過ごせるような工夫も行き届く。

食事をしながら東側に広がる森の借景が楽しめるよう、ダイニングのすぐ横に窓を配置。すっきりとした見栄えを重視してフィックス+縦すべり出し窓を採用している



Find the Good House in the Local Builder



大喜工務店

無添加骨太高断熱住宅で安心と快適を実現する

上質の檜材を銘木の産地から直接仕入れ、自社倉庫で長期自然乾燥させて大黒柱などに使用。3階建て基準のベタ基礎や2階でもグラウンドピアノが置ける仕様を標準とし、すべての家が基準の1.7倍以上の耐震性能を誇る。さらに柱・梁・床・天井などを無垢材で構成し、壁にオリジナルの珪藻土などを用いた「無添加骨太高断熱住宅」を推進。過剰だと思われるほどのこだわりを貫き、大手建築会社に勤める幹部から家づくりを依頼されるほど信頼は厚い。



「檜材は銘木の産地・東濃地方から直接仕入れ、自社で長期自然乾燥しています」と社長の藤田喜代次さん

DATA

社名/大喜工務店
 代表/藤田喜代次
 住所/〒527-0087 滋賀県東近江市平田町764
 ☎0748-22-0028
 年間建築棟数/新築30棟
 設立/1952年1月
 建築エリア/滋賀県、京都府南部
 (そのほかの都府県は要相談)

PROFILE



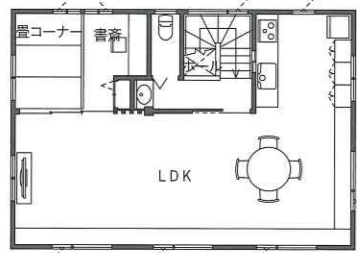
本物の家を求めて遠方からの依頼も増えています

藤田英喜
 住宅設計実績100軒以上の一級建築士。見た目のデザインだけでなく、生活スタイルに合わせて幅広い提案を行う。同じく一級建築士の社長とともに家づくりの全工程に携わる



FACADE

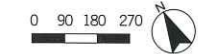
玄関側は斜線制限にかならないよう平屋で設計。1階・2階ともに南側の庇を大きくすることで夏の日差しをカット。外観のデザインを優先して、バルコニーはあえて設置していない



2F



1F



DATA

敷地面積 / 160.96㎡ (48.78坪)
 延床面積 / 131.40㎡ (39.82坪)
 1階 / 70.87㎡ (21.48坪)
 2階 / 60.53㎡ (18.34坪)
 用途地域 / 第1種低層住居専用地域
 建ぺい率 / 60%
 容積率 / 100%
 構造 / 木造軸組工法
 本体工事費 / 2500万円
 竣工 / 2017年9月

INSTRUMENTS

厨房機器 / タカラスタンダード
 衛生機器 / TOTO
 窓・サッシ / LIXIL



⑤玄関は平屋の利点を生かし、天井の高さを屋根まで確保。トールサイズの下駄箱と高窓を設けている ⑥シンボルツリーのモミジが迎えるアプローチ。ポーチの壁には杉板をあしらった

- CHECK POINT -

長期自然乾燥させた9寸角の大黒柱

1階から2階リビングへと貫く9寸角の大黒柱は、品質が高い東濃産の檜を使用。大喜工務店の倉庫で長期自然乾燥をさせることでさらに強度を高めている。極太の丸太梁などと合わせて高耐震の家を実現するとともに、インテリアとしての美しさも兼ね備える。



1階の廊下に沿って個室とサニタリーを効率よく配置。洗面室内に十分なスペースが確保できなかったため、リネン庫として使える収納を廊下に設けている



WORK ROOM

①・②リビングの隣に設けた書斎&畳コーナー。小上がりに引き出し収納、デスクに本棚を併設した。引き戸を開放しておけばリビングの延長として使える

“木の香りに癒やされ、素足で歩くと気持ちいい”

BED ROOM

安心して子育てできるおうちですね



現在は10畳の大空間にしている子ども室。出入り口やクロゼットはそれぞれ2つあり、必要に応じて5畳ずつの2部屋に分けられる。床は寝室よりも少し軽快なフィンランド産バイン



③ポルドーバインの床が美しい寝室。杉板のアクセント壁に連窓やブラケットを施してエレガントな雰囲気 연출した ④寝室には主に室内干しスペースとして使う縁側を併設。外側には多目的に使えるウッドデッキを設けている